

酒田コミュニケーションポート（仮称）整備検討委員会
（第2回）

日 時：平成28年6月22日（水）13：30～
場 所：文化センター 4階412号室

議 事 次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 前回委員会における確認事項等について（資料2～5）

(2) 本日の進め方、スケジュール等について（資料6、7）

(3) 図書館の事業等説明について（資料8）

(4) 中央図書館施設見学

(5) 意見交換

(6) アンケート調査（案）について（資料9）

(7) 先進地視察について（資料10）

(8) その他

4 閉 会

会議要録

会議の名称	酒田コミュニケーションポート（仮称）整備検討委員会（第1回）
開催日時	平成28年5月17日（火） 午後2時30分 ～ 午後4時40分
場 所	酒田市役所本庁舎3階 第二委員会室
出席者	<p>○出席委員 矢口 明子 委員（委員長）、小田島 健男 委員（副委員長）、 片桐 晃子 委員、久木原 満 委員、齋藤 一男 委員、 佐藤 晶子 委員、高橋 利春 委員、田代 典子 委員、 中原 浩子 委員</p> <p>○欠席委員 佐藤 真美 委員、平尾 清 委員</p> <p>○事務局 中川企画振興部長、大石教育部長、阿部都市デザイン課長兼図書館主幹、 阿部図書館長、岩浪図書副館長、長尾観光振興課長補佐 （都市デザイン課） 高橋課長補佐、本間主査、土井係長、相馬主任、高橋主任、今井主事</p>
<p>1 開 会（事務局）</p> <p>2 委嘱状交付（市長）</p> <p>3 あいさつ（市長あいさつ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の整備の委員会で本日のように女性委員が多いのは珍しいかもしれない。女性の感覚や意見を大事にしていきたい。 ・駅前の整備は酒田市の長年の懸案であった。駅前の整備については、事業者選定委員会を立ち上げ、どの事業者の提案がベストなのかを審査していく。本日集まっていた委員の皆さんには、市街地再開発事業の計画の中に導入するコミュニケーションポートという公共施設のあり方について、意見伺いながら基本計画を策定してもらうのが目的である。 ・ライブラリーセンターを中心とした機能を盛り込みたい。私の思いも少しあるが、ただ単に現在の図書館を移転するのではなく、酒田ならではの、特に人と人とが交流して磨ける交流施設を目指したい。磨くための材料の一つとして図書があると思っている。最終的には磨かれた人間が産業を興したり、子供を育てたり、市政に参画したり、団体を作ってアクションを起こすなど、担い手になってもらえるようなものとしていきたい。 ・ポートとは、湊町酒田のイメージを具現化したいという思いや、コンピューターのインターフェイス部分のことも指すことから、人や物の出入り口、情報発信の場としての機能も持ってほしいという思いが込められている。 ・これまでの公共施設のイメージにとらわれず、市を越えて広域で様々な人が集まる施設になってほしい。先ほども言ったが、駅前の整備については長年の懸案事項。平成32年度までには市民と市が思い描く、にぎわいをもたらす施設を作っていきたい。その中の中核を担うコミュニケーションポー 	

トの基本計画についてご支援をお願いしたい。

4 委員紹介（事務局）

5 委員長及び副委員長の選出

○委員長・・・矢口副市長

（委員長あいさつ）

○副委員長・・・小田島委員

（副委員長あいさつ）

6 議 事

(1) 委員会の運営について（資料に3に基づき事務局説明）

委員長

- ・原則（会議は）公開ということによろしいか。

各委員

- ・異議なし

(2) 酒田駅周辺整備事業の経過等について（資料4-1、4-2、4-3に基づき事務局説明）

委 員

- ・委員の委嘱期間である、計画の策定が終了するまでとはどれくらいの期間か。

事務局

・資料5-1に委嘱期間を記載しているが、28、29年度の間となる。当面は基本計画を12月くらいまでに策定し、その後実施計画の策定をしていければと考えている。

委 員

・これだけの量の資料を確認して意見を即座に出していくとなると、かなり会議に時間をとらなくては行けないと思う。また、6月12日に公開プレゼンテーションということで、非常に時間もタイトである。資料を確認してから会議に参加したいので、資料は極力事前配付をお願いしたい。

事務局

- ・可能な限り会議の前に出せるよう努めていく。
- ・公開プレゼンテーションまで日程がタイトという意見が出たが、基本的には、ハードとソフトは分けて事業者を選定する。事業者選定とソフトの基本計画策定は平行して進めていくが、ハード事業者決定後に、ハードの基本設計の段階でソフトでの意見を反映させていきたいと考えている。

委 員

・ハードとソフトを分けて進めるということだが、ソフトの中身が決まる前にハードの事業者が決まるのは疑問を感じる。ハードとソフトに関係なく、情報に関しては先に提供してもらえればありがたい。

委員長

- ・意見として承る。

委 員

・コミュニケーションポートの5つの柱が決定なのは理解した。広さに関しては若干の変更は可能なのか。

事務局

- ・（ハードでの）提案事業者5者に対しても公共施設部分について面積等の提示をしている。提示され

た規模での整備をお願いしているため、大きくする変更は難しい。中の配置や少々の面積に関してなどは変更可能と考えている。

委員

・資料4-3の図でみると、酒田市の整備方針に反映されるとある。市民ワークショップや各界との意見交換会を実施し、そこで出た意見を酒田市が集約することだが、論点のずれた話し合いにならないためにも、集約した意見を本委員会にフィードバックする仕組み作りは可能か。

事務局

・次の資料5にあるとおりであるが、市民ワークショップや市民アンケート、意見交換会などを予定しているが、本委員会のみなさんからもワークショップや意見交換会に関わっていただければと思う。
・補足だが、市民ワークショップや市民アンケート、意見交換会で市民の意見を集約するが、基本的に本委員会へ出すつもりでいる。

委員

・ソフトの中にも観光や図書館、子育て、産業活性化、交通を含めたまちのランドデザインなど多種多様な機能が必要になってくる。もっと細分化した専門分野に見識のある人たちからも、意見を聞いて補強していくという方法を市では考えているか。先ほど市長もおっしゃったように、子育てなどの機能を入れた新しい図書館像を考えたときに、その施設をどうしたらいいのか、運営はどうしたらいいのかについて話すことができ初めてハードがソフトになると思う。有識者の意見は各界との意見交換会のみという形になるのか。

事務局

・委員のみなさんだけでなく、駅前をよく利用する人（高校生など）の意見を吸い上げて、本委員会でも披露していく。他の各団体とも意見交換をしていきたい。本委員会内で専門家の方を呼んで意見を伺いたいとの要望があればその機会を設けたい。

委員

・ライブラリーセンターが中核となってくると思うが、市が新たな図書館構想をどのように構築して、現状の図書館の問題とどう噛み合わせて移転していくのか伺いたい。

事務局

・移転構想が決まったばかりであるため、皆さんの意見を含めて新しい構想を考えていきたい。将来を見据えた図書館づくりについてはまだ勉強中。

委員

・図書館を作ること自体が目的なのではなく、人と人をつなぐツールの一つとしてライブラリーセンターや観光情報センターがあると考えていいか。

事務局

・先ほど市長も言っていたように、今の中央図書館をただ移転するわけではない。図書館機能はライブラリーセンターに設けながら、従来の図書館の枠を越えた形で人材育成や交流の促進となるような機能を持たせていきたいと考えている。

(3) 酒田コミュニケーションポート（仮称）基本計画等策定の検討体制について（資料5-1, 5-2に基づき事務局説明）

委員

・市民ワークショップの開催日程について、平日の昼間は参加できない人（働いている人など）が多いので、いろいろな人が参加できるよう土日に開催してもらいたい。

事務局

・平日の夜や土日などの参加しやすい日程に開催していく。

委 員

- ・再開発事業予定者の選定基準について聞きたい。

事務局

- ・ハードの事業者選定の基準については、別途資料を送らせていただく。HPにも公開はしている。

委 員

・再開発事業のプレゼンテーション及びその選定基準の中には、ソフトの部分入ってくるのではないか。本委員会ではハードとソフトの住み分けを説明して欲しい。

委 員

・駅前施設の核は図書館。従来の図書館だけでなく、さらにプラスの機能を持たせたい。いま図書館には多種多様なニーズがある。静かに本を読む場だけでなく、情報発信や情報提供の場ともなっている。それに加え、知的刺激や交流の場としての機能も求められている。例として、ツタヤが指定管理者として入っている多賀城市の図書館はとてにぎわっている。市のライブラリーセンターの理想像があれば教えてほしい。

事務局

・従来の図書館の機能に加え、新しい使い方ができればと思う。ライブラリーセンターを中心に人のにぎわい、情報や人の交流の場としていきたい。先進地事例の多賀城市なども視察先となっているため、参考としていただきたい。

・図書館の基本機能だけでなく、常連の人や今まで利用していなかった新しい人の様々なニーズにも応えていけるような施設にしていきたい。

委 員

- ・市民アンケートはどのように実施するのか。

事務局

・無作為抽出で2,000名にポストインする。その他、図書館内において利用者アンケートや市内要所にアンケートを置いて、興味のある方や回答したい方がいつでも答えられるようにする。

(4) 基本計画での検討事項（案）について（資料6に基づき事務局説明）

委 員

- ・次回の委員会の開催日時はいつか。

事務局

・第2回は6月22日(水)13時半からを予定している。第3回では、7月上旬に先進地事例視察をできるよう日程調整している。

委 員

・資料4-2について、資料6には記載していないライブラリーセンターの整備目的の欄で、蔵書数の増加や企画展示、学習室、レファレンス、ビジネス支援等と書かれている。学習室とレファレンスの機能は近年入ってきていると思う。いまの中央図書館は手狭という意見も出たが、何年か前から光丘文庫の2階でも学校終わりに学生が勉強している。静かに勉強したい人や情報交換したい人、アートを楽しみたいと思う人がいれば対応して欲しいと思う。一番聞きたいのは、資料に企画展示と記載があるがどういうものを考えているか教えていただきたい。

事務局

・具体的には決めていないが、平成27年度より企画展示を小さい規模でだが行っている。移転したら規模を広げて、本だけでなく美術品などの展示や光丘文庫の中の蔵書などの企画展示をできるスペースができたと思う。交流スペースや学習室など静かに過ごしたい人と話したい人の住み分けをしていきたい。

委員

・個人的な意見として、酒田市出身の吉野弘さんを中心にした企画展示室を作ってはどうか。静岡県富士市在住（富士市で吉野さんは亡くなった）のご家族のところに原稿や写真、絵などが多数ある。作品の行き所に関して、市長や教育部長のほうが詳しいとは思いますが、ご家族の話だと吉野さんは酒田にとっても愛着を持っており、酒田市へ作品を提供していただける気がする。

・レファレンスとディスプレイは従来の図書館機能の一つであって、蔵書関連の企画展示は、その中に含まれる。それとは別に、今回新設されるライブラリーセンターに、もう一つ自由な空間が作れるのであれば、漠然と酒田市ゆかりの文化人・有名人の、ということではなくて、酒田の風土性が生まれた詩人・吉野弘さんを中心にした記念室を作ってはどうか。市やファンからも、吉野さんの作品を大事にしたいという声を聞く。記念室があれば、直筆作品などの企画展示をしたり、作品を朗読して次の世代に伝えたり、合唱組曲を歌ったりなど、文学や音楽への興味につながり、多ジャンルの交流の場ともなる。鶴岡では藤沢周平記念館を独立した建物として作ったが、吉野さんのメモリアルのための場としては、詩集を含む著者の近く、すなわち図書館に隣接してあるのがふさわしいように思える。吉野弘さんを中心にした記念室があれば、酒田市出身以外の関連詩人や芸術家たちを含めた幅広い企画展示が実現できると思うし、酒田市独自の記念室が作れるのではないかと思う。

事務局

・ご家族からも蔵書提供の相談があった。市としても丸山市長が副市長時代に訪れている。大切に保管しながら貸出をしていきたいと考えている。また、未発表の作品の整理や取扱い等を含め検討していく。

委員

・資料6について、市が取得する酒田コミュニケーションポート（仮称）の購入金額27億円の財源の説明をお願いしたい。

事務局

・国からの補助金と、合併特例債を活用していきたい。

委員

・内訳をお聞きしたい。

事務局

・見込みはまだ立っていないが、想定しているのは事業費の3分の1を国から補助金としてもらえるメニューである。残りを95パーセント充当可能な合併特例債を財源として考えている。公共施設の取得時に支払うため、国等への補助申請はまだ先になる。

委員

・視察先であるオガールプロジェクト（紫波町の複合施設）は、酒田でも講演してもらっている岡崎さんが仕掛け人で、そこでは先にソフトが決まり、事業計画決定後に地元の銀行などに出資を募り、ハードの事業にとりかかる方法をとっている。ソフトを決めてから建てている。図書館の機能に限定した話であればいいのだが、まちづくり施設として運営していくのであればどのように収支をたてるかが重要。補助金などの関係で一部制約を受けることで仕方のない部分もあるのかもしれないが、そこは事業予定者選定の中できちんと審査してほしい。なお、再開発事業予定者の選定基準についてしっかり明示してほしい。

委員

・運営方法は気になっていたところ。事業者選定の審査委員は誰になっているのか。

事務局

・6月12日の公開プレゼンテーションでの審査委員については、建築関係2名、観光2名、会計関

係1名、酒田市内部の部長3名の計8名となっている。

(5) 現中央図書館、観光案内所等の現状と課題について（資料7～11に基づき事務局説明）

委員

・酒田市の未来を担う、一旦酒田を出て行っても帰ってくるような高校生の存在を作るために、興味を持ってもらいたい。

委員

・図書館部会飽海支部の会長でもあるのだが、文化センターの利用者が1名なのは残念。高校生からは、時間をつぶせるようなお店の要望が多い。読書の時間が多くなる手だてを考えたい。

委員

・資料7について、入館者数ではなく、実利用者数はどれくらいか。

事務局

・一人大体4、5冊借りているため、約11万6千人。図書カード登録者数は1万5千人ほど所有している。

委員

・仮に1万人が図書館機能を移転した施設でどれくらいお金を使ってくれるのかがわかれば、運営の核となるデータになるため、できれば年齢層も含め正確な数字を出していただきたい。

(6) 今後のスケジュール（案）、先進地視察について（資料12、13に基づき事務局説明）

委員長

・視察先は2か所でよろしいか。何かご意見あれば、後日でもいいので言ってもらいたい。

(7) その他

特になし。

7 閉 会（事務局）

以 上

中央図書館及び児童図書室の貸出実人数（年齢層別）の状況

資料2

平成28年6月22日/市図書館

平成26年度 中央図書館 61～70歳の構成比が最も高く（18.2%）、21～30歳の構成比が最も低い（7.5%） ※81歳以上を除く。

（単位：人）

区分	性別	5歳以下	6～10歳	11～15歳	16～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56～60歳	61～70歳	71～80歳	81歳以上	計	構成比
中央図書館	男	31	239	197	130	72	124	127	208	219	216	252	251	662	377	93	3,198	36.6%
	女	30	347	416	234	181	276	383	517	552	422	440	430	924	326	60	5,538	63.4%
	計	61	586	613	364	253	400	510	725	771	638	692	681	1,586	703	153	8,736	100.0%
	構成比	0.7%	6.7%	7.0%	4.2%	2.9%	4.6%	5.8%	8.3%	8.8%	7.3%	7.9%	7.8%	18.2%	8.0%	1.8%	100.0%	
		7.4%		11.2%		7.5%		14.1%		16.1%		15.7%						
児童図書室	男	76	151	18	5	3	14	19	34	16	9	7	4	16	8	1	381	24.9%
	女	87	196	23	14	48	78	167	200	98	52	40	54	70	19	2	1,148	75.1%
	計	163	347	41	19	51	92	186	234	114	61	47	58	86	27	3	1,529	100.0%
	構成比	10.7%	22.7%	2.7%	1.2%	3.3%	6.0%	12.2%	15.3%	7.5%	4.0%	3.1%	3.8%	5.6%	1.8%	0.2%	100.0%	
		33.4%		3.9%		9.4%		27.5%		11.4%		6.9%						
計	男	107	390	215	135	75	138	146	242	235	225	259	255	678	385	94	3,579	34.9%
	女	117	543	439	248	229	354	550	717	650	474	480	484	994	345	62	6,686	65.1%
	計	224	933	654	383	304	492	696	959	885	699	739	739	1,672	730	156	10,265	100.0%
	構成比	2.2%	9.1%	6.4%	3.7%	3.0%	4.8%	6.8%	9.3%	8.6%	6.8%	7.2%	7.2%	16.3%	7.1%	1.5%	100.0%	
		11.3%		10.1%		7.8%		16.1%		15.4%		14.4%						

（参考）貸出延人数121,475人からの推計で、1人あたりの貸出回数 約11.8回（月に1回程度）

平成27年度 中央図書館 61～70歳の構成比が最も高く（18.8%）、21～30歳の構成比が最も低い（6.9%） ※81歳以上を除く。

（単位：人）

区分	性別	5歳以下	6～10歳	11～15歳	16～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56～60歳	61～70歳	71～80歳	81歳以上	計	構成比
中央図書館	男	30	248	176	119	78	87	124	184	208	213	232	245	667	378	103	3,092	36.4%
	女	26	308	408	245	178	242	333	502	512	447	423	416	935	370	64	5,409	63.6%
	計	56	556	584	364	256	329	457	686	720	660	655	661	1,602	748	167	8,501	100.0%
	構成比	0.7%	6.5%	6.9%	4.3%	3.0%	3.9%	5.4%	8.1%	8.5%	7.8%	7.7%	7.8%	18.8%	8.8%	2.0%	100.0%	
		7.2%		11.2%		6.9%		13.4%		16.2%		15.5%						
児童図書室	男	84	155	20	3	5	12	25	30	17	8	8	4	17	6	2	396	27.4%
	女	73	183	24	15	43	71	170	173	99	38	36	34	75	14	1	1,049	72.6%
	計	157	338	44	18	48	83	195	203	116	46	44	38	92	20	3	1,445	100.0%
	構成比	10.9%	23.4%	3.0%	1.2%	3.3%	5.7%	13.5%	14.0%	8.0%	3.2%	3.0%	2.6%	6.4%	1.4%	0.2%	100.0%	
		34.3%		4.3%		9.1%		27.5%		11.2%		5.7%						
計	男	114	403	196	122	83	99	149	214	225	221	240	249	684	384	105	3,488	35.1%
	女	99	491	432	260	221	313	503	675	611	485	459	450	1,010	384	65	6,458	64.9%
	計	213	894	628	382	304	412	652	889	836	706	699	699	1,694	768	170	9,946	100.0%
	構成比	2.1%	9.0%	6.3%	3.8%	3.1%	4.1%	6.6%	8.9%	8.4%	7.1%	7.0%	7.0%	17.0%	7.7%	1.7%	100.0%	
		11.1%		10.2%		7.2%		15.5%		15.5%		14.1%						

（参考）貸出延人数116,094人からの推計で、1人あたりの貸出回数 約11.7回（月に1回程度）

年齢別人口に対する貸出実人数（年齢層別）割合の状況

資料3

平成28年6月22日/市図書館

平成26年度

年齢別人口に対し6～10歳の女性割合が最も高く（26.3%）、36～40歳の女性、31～35歳の女性が20%台と続き、21～25歳の男性の割合が最も低い（4.0%） ※81歳以上を除く。

（単位：人）

性別	年齢	5歳以下	6～10歳	11～15歳	16～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56～60歳	61～70歳	71～80歳	81歳以上	計
男	人口	2,201	2,023	2,380	2,213	1,865	2,177	2,594	3,319	3,410	3,206	3,378	3,808	8,733	5,645	3,413	48,164
	貸出人数	107	390	215	135	75	138	146	242	235	225	259	255	678	385	94	3,579
	貸出人数/人口	4.9%	19.3%	9.0%	6.1%	4.0%	6.3%	5.6%	7.3%	6.9%	7.0%	7.7%	6.7%	7.8%	6.8%	2.8%	7.4%
女	人口	2,045	2,065	2,386	2,203	1,717	2,048	2,567	3,047	3,383	3,200	3,414	3,787	9,013	7,577	7,378	55,830
	貸出人数	117	543	439	248	229	354	550	717	650	474	480	484	994	345	62	6,686
	貸出人数/人口	5.7%	26.3%	18.4%	11.3%	13.3%	17.3%	21.4%	23.5%	19.2%	14.8%	14.1%	12.8%	11.0%	4.6%	0.8%	12.0%
計	人口	4,246	4,088	4,766	4,416	3,582	4,225	5,161	6,366	6,793	6,406	6,792	7,595	17,746	13,222	10,791	106,195
	貸出人数	224	933	654	383	304	492	696	959	885	699	739	739	1,672	730	156	10,265
	貸出人数/人口	5.3%	22.8%	13.7%	8.7%	8.5%	11.6%	13.5%	15.1%	13.0%	10.9%	10.9%	9.7%	9.4%	5.5%	1.4%	9.7%

※人口は、H27.3.31現在

※貸出人数は、中央図書館・児童図書室の合計人数

平成27年度

年齢別人口に対し、6～10歳の女性割合が最も高く（23.1%）、36～40歳の女性が20%台と続く、26～30歳の男性の割合が最も低い（4.4%） ※81歳以上を除く。

（単位：人）

性別	年齢	5歳以下	6～10歳	11～15歳	16～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56～60歳	61～70歳	71～80歳	81歳以上	計
男	人口	2,265	2,075	2,399	2,303	1,862	2,248	2,727	3,440	3,382	3,186	3,441	3,905	8,601	5,730	3,308	50,872
	貸出人数	114	403	196	122	83	99	149	214	225	221	240	249	684	384	105	3,488
	貸出人数/人口	5.0%	19.4%	8.2%	5.3%	4.5%	4.4%	5.5%	6.2%	6.7%	6.9%	7.0%	6.4%	8.0%	6.7%	3.2%	6.9%
女	人口	2,126	2,127	2,461	2,209	1,715	2,142	2,663	3,154	3,392	3,222	3,465	3,863	8,963	7,786	7,211	56,499
	貸出人数	99	491	432	260	221	313	503	675	611	485	459	450	1,010	384	65	6,458
	貸出人数/人口	4.7%	23.1%	17.6%	11.8%	12.9%	14.6%	18.9%	21.4%	18.0%	15.1%	13.2%	11.6%	11.3%	4.9%	0.9%	11.4%
計	人口	4,391	4,202	4,860	4,512	3,577	4,390	5,390	6,594	6,774	6,408	6,906	7,768	17,564	13,516	10,519	107,371
	貸出人数	213	894	628	382	304	412	652	889	836	706	699	699	1,694	768	170	9,946
	貸出人数/人口	4.9%	21.3%	12.9%	8.5%	8.5%	9.4%	12.1%	13.5%	12.3%	11.0%	10.1%	9.0%	9.6%	5.7%	1.6%	9.3%

※人口は、H28.3.31現在

※貸出人数は、中央図書館・児童図書室の合計人数

貸出実人数（居住地別 中央・児童合算）の状況

資料4

平成28年6月22日/市図書館

平成26年度

(単位:人)

市町村	5歳以下	6～10歳	11～15歳	16～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56～60歳	61～70歳	71～80歳	81歳以上	計	割合	市町村	
酒田市	211	893	630	345	260	411	616	864	807	634	663	673	1,569	693	151	9,420	91.8%	95.8%	酒田市
遊佐町	2	10	5	13	8	15	20	18	17	18	21	27	41	11	1	227	2.2%		遊佐町
庄内町	1	6	6	5	8	12	15	25	19	14	21	14	25	15	3	189	1.8%		庄内町
三川町	0	5	1	3	2	3	6	8	4	3	6	2	6	3	0	52	0.5%	2.5%	三川町
鶴岡市	2	9	12	9	11	25	19	22	23	18	19	16	17	6	1	209	2.0%		鶴岡市
新庄市	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%	0.0%	新庄市
戸沢村	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%		戸沢村
にかほ市	0	0	0	1	0	5	2	2	0	0	3	2	6	0	0	21	0.2%	1.6%	にかほ市
その他	8	10	0	7	14	20	18	20	15	12	6	5	8	2	0	145	1.4%		その他
計	224	933	654	383	304	492	696	959	885	699	739	739	1,672	730	156	10,265	100.0%	100.0%	計

※団体貸出は除外

平成27年度

(単位:人)

市町村	5歳以下	6～10歳	11～15歳	16～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56～60歳	61～70歳	71～80歳	81歳以上	計	割合	市町村	
酒田市	199	859	595	331	250	345	571	797	745	630	618	639	1,574	741	165	9,059	91.1%	95.4%	酒田市
遊佐町	4	8	6	9	12	19	19	17	15	19	19	25	42	12	2	228	2.3%		遊佐町
庄内町	4	9	13	7	9	12	18	20	25	16	18	11	29	7	2	200	2.0%		庄内町
三川町	0	3	3	1	2	1	6	7	4	3	6	2	4	3	0	45	0.5%	2.7%	三川町
鶴岡市	1	9	10	17	12	21	16	24	26	24	21	11	24	4	1	221	2.2%		鶴岡市
新庄市	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0.0%	0.1%	新庄市
戸沢村	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.0%		戸沢村
にかほ市	0	0	0	0	1	1	2	2	1	0	4	2	6	0	0	19	0.2%	1.9%	にかほ市
その他	5	6	1	16	17	12	19	22	20	14	12	9	15	1	0	169	1.7%		その他
計	213	894	628	382	304	412	652	889	836	706	699	699	1,694	768	170	9,946	100.0%	100.0%	計

※団体貸出は除外

(省略)

第 2 回委員会の進め方、タイムスケジュールについて

◎ 本日の開催目的

- ① 現図書館の現況、課題の把握（施設面、運営面）
- ② 新施設に望まれる機能の抽出
- ③ 次回（7/7）の先進地視察に活かす課題整理・視点の発掘

「課題と対応策、アイデアを話し合う」
～どんな機能、使い方が望まれるか～



＜第 3 回以降のスケジュールイメージ＞

—	第 3 回（7/7 先進地視察）	第 2 回の現況、課題、アイデア等の視点を活かしての視察
—	第 4 回（7 月 28 日）	先進地視察の報告、感想、意見 第 2 回・第 3 回を踏まえてのアイデアの話し合い
→	第 5 回（10 月下旬）	市が策定する基本計画案に対する意見交換

↑
計画案に反映

- ・ 第 4 回まで委員会で出された意見、アイデア
 - ・ 市民アンケート、市民ワークショップ

◎ 本日の議論の視点

ライブラリーセンターに求めたいもの （観光情報センターとの連携を含む）

【4 つのテーマ（切り口）】

「学び」 「子育て」 「交流」 「情報発信」

※市の整備計画方針の柱

◎ 留意事項

- ・ 利用者の立場、目線での施設見学を行い、課題等について整理を行う。
- ・ 施設見学や他事例を参考にしながら、課題等を踏まえ、それをどう新施設へ反映させるかの視点で意見交換を行う。
- ・ 効果的、効率的な“多くの自由意見、アイデア”の機会を創出するため 2 班に分かれての意見交換を行う。

■平成 28 年 6 月 22 日（水） 13：30～15：30（予定） 文化センター4F 412 室

時間	概要	内容	備考
13:30	○開会 (2分)		・コの字机配置
13:32	○前回委員会の確認 ○本日の進め方、スケジュール説明 (8分)	○策定予定の基本計画イメージ（委員会役割の再確認） ○第2回委員会の開催目的等	
13:40	○図書館の事業概要説明 (8分)		
13:48	○施設見学 (30分)		
14:18	○休憩、予備 (2分)		
14:20 (60分)	～2班での意見交換～ ○自己紹介 (6分：1分×6人) ○意見交換 ・シンキングタイム（5分） ・意見交換 (18分：3分×6人) ・班別全体意見交換 (10分) ・全体意見交換 (20分)	○意見交換 4つのテーマ（切り口）を視点に、 ①良い所、改善点抽出 (施設面、運営面) ②新施設に新しく導入する機能の議論	・2班に配置換え ・各班に記録、疑義対応のため事務局職員を配置
15:20	○アンケート案協議 (10分)		
15:30	○閉会、次回開催案内		

意見交換用素材 《他図書館の取組事例、キーワード》

◆**公立図書館**：赤ちゃんからお年寄りまで利用者の年齢を選ばず、職業や収入も選ばず、無料で使える公共施設

●交流

- ・午後5時以降アルコール可（東京都武蔵野プレイス）
- ・カフェに雑誌や新聞が持ち込め、食事やお茶を楽しみながらの読書可（各団体）
- ・電子レンジや給湯器の設置、コンビニで買った弁当などの持込み可（東京都武蔵野プレイス）
- ・早朝からまちなかを散策される方々や公共交通を待合される方々の利用を目的とし、新聞、新聞電子版、雑誌を配置した「情報コーナー」を朝7時からオープン（富山市）
- ・まちじゅう図書館の取組み（小布施町、恵庭市）
- ・地域の交流拠点を目指した船橋まるごと図書館プロジェクト（船橋NPO法人）
- ・地域のイベントに図書館企画を出展（練馬区南田中）
- ・ラーニングコモンズの設置（各大学図書館等）
- ・泊まれる本屋。本に囲まれたホテル（BOOK AND BED TOKYO：池袋）
- ・コワーキングスペースと本を連携したライブラリー（co-ba library：渋谷）
- ・ビールや毎日イベントが開催される本屋（B & B：世田谷）

人と人をつなぐツールの一つ

高校生利用の活性化

多種多様なニーズの存在

●学び

- ・地域を支える情報拠点への変革
- ・3.11 震災文庫（仙台市）
- ・ビジネス支援の充実（仕事に役立つ情報・資料の提供、セミナー・講座の開催）（鳥取県）
- ・農業支援の充実（紫波町）
- ・明治時代の洋書・古本や文化財に触れられるミュージアム機能（日比谷）
- ・近隣の6小中学校と連携した学校支援モデル事業の展開（練馬区南田中）
- ・電子図書館の導入（各団体）
- ・子育て支援、健康、ビジネス、暮らしなど市民の関心が高い分野を抜き出したテーマ（大府市）
- ・レファレンスのデータベース化（岡山県）
- ・電子図書館デジタル岡山大百科（岡山県）
- ・ビブリオバトル〔発表参加者によるおすすめ本のプレゼン投票〕（各団体）
- ・市民との昭和の記憶を風化させないための「昭和の記憶」事業（桑名市）
- ・読書の楽しさの発信の子ども司書養成講座（結城市）

●子育て

- ・「子どもの声は未来の声」を理念として、ベビーカーでの来館を歓迎している（岐阜市）
- ・屋外にキッズテラス、こどもテラスを配置（多賀城市、八千代市等）
- ・青空読み聞かせ会（紫波町）
- ・生後6か月～未就学児を対象とした利用者向けの無料一時託児サービス（八千代市）
- ・子育て相談の実施（文京区小石川）
- ・たたみの部屋（各団体）
- ・英語の本の読み聞かせ（高山市）

●その他

- ・川のせせらぎや鳥のさえずりの環境音（八千代市）
- ・音と香り（ユーカリやラベンダー等）でのもてなし（神戸市東灘）
- ・24時間365日利用可能（秋田市、国際教養大学）
- ・年末年始も開館（葛飾区）
- ・24時間貸出しOK（萩市）
- ・サイレントブース（各団体）
- ・Wi-Fi完備（各団体）

●情報発信

観光発信

- ・名誉区民である文芸評論家ドナルド・キーン氏から寄贈された書籍や絵画を公開するコーナーの設置（北区）
- ・「富山の観光資料」の蔵書の充実（富山市）
- ・図書館入口に「東北を知る玄関口」設置（多賀城市）
- ・塩尻ブランドである「ワインコーナー」、短歌の里としての「短歌コーナー」設置（塩尻市）
- ・英語、中国語が話せるスタッフを配置（高山市）
- ・ホテルと連携し、奈良関係書籍を宿泊者向けに貸し出す「文庫」をホテル内に設置。ホテル全室にブックリストを備え、フロントに申し出ると、自室まで希望の本を届けてもらえ、チェックアウトまでの間利用可能（奈良県）
- ・忠臣蔵、赤穂義士の蔵書の充実（赤穂市）
- ・有田焼、唐津焼等の陶磁器の図書や図録の充実（伊万里市）
- ・海に近いことなど地域性を活かした「日本海情報」「ものづくり情報」（金沢市）
- ・レコード、CD、楽譜等の音楽に関する図書の特化。音楽ファン必見（文京区小石川）

市出身吉野弘氏の記念室の設置

（※）は、第1回委員会からのキーワード

○開館の状況

開館時間	平日・土曜日	9時～19時
	日曜・祭日	9時～17時
休館日	12月29日～1月3日、図書整理期間(2週間)	

○職員体制等

職員体制	正職員8人、日々雇用職員(パート)10人
設備等	蔵書検索用端末2台、自動貸出機2台、インターネット用パソコン6席、貸出用カウンター2台、返却用カウンター1台、マイクロフィルムリーダー1台
その他	学習室60席、閲覧席55席(机なし18席を含む)

○選書

項目	現在の状況
選書方針	別紙「資料の選定及び収集に関する要綱」に定める方針に基づいて選書
配慮すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 世の中の動き、時代に合わせた求められている本 当館における利用傾向 当館における所蔵状況(分野ごとの過不足、シリーズもの等) 書店での販売状況 公序良俗に反しないかどうか
選書方法	①図書館流通センター(以下「TRC」という)発行の「週刊新刊全点案内」によるおすすめ本を中心に選書 TRCのオンラインサービス「TOOLi」により発注。毎週水曜日に納品200冊程度/週 ②書店での調査(郷土に関する図書) →郷土関連図書に関する出版情報を書店で収集し、発注。数冊/週 ③リクエストに基づく購入

○館外貸出

項目	現在の状況
貸出対象者	利用登録(有効期間3年間)をしていること。 住所等不問。団体の場合は、活動している団体であること。
貸出期間等	【個人】 貸出期間 15日間(予約がなければ電話又はホームページから延長可能) 貸出点数 10点まで(ただし、CD・DVDは5点)/人 【団体】 貸出期間 30日間(延長不可) 貸出点数 120点(ただし、CD・DVDは不可)まで 【予約】 <ul style="list-style-type: none"> カウンター、ホームページ及び館内蔵書検索用端末で可能 5点/人まで 貸出準備が出来次第、メールや電話などで通知 利用可能となった日から8日間取り置き 受取館の指定も可能
貸出手続き	<ul style="list-style-type: none"> 自動貸出機又はカウンターでの貸出 延滞本がある場合、新たな貸出は不可 閉架図書は、カウンターで貸出
返却	<ul style="list-style-type: none"> 返却先はどこの館でも可 開館時間外は、返却用ポストに返却可

○リクエスト

項目	現在の状況
受付方法	窓口での申請のみ
購入基準等	<ul style="list-style-type: none"> 発売から1年以内のものは原則購入(ただし、「配慮すべき点」を考慮) 県内他館等が所蔵している場合は、相互貸借により借り受け、購入しない。

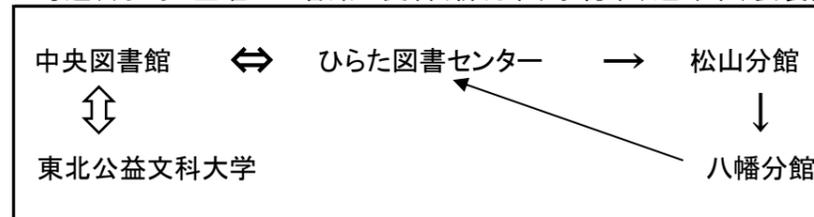
○分館等のネットワーク体制

①各館の業務分担

館	作業の内容
中央図書館 児童図書室	TRC以外から購入した本の装備、登録作業 新刊の装備作業 新聞製本 雑誌登録、装備作業 予約入力、データ出力、分館への配送、予約連絡など
ひらた図書センター	予約連絡、除籍本の装備など 消耗品等の作成、修理
八幡分館	破損本の修理 貸出文庫等への予約状況確認

②巡回体制

毎週、月・水・金曜日に各館に資料(新刊本、予約本、返却本、要装備本等)を配送



資料の選定及び収集に関する要綱

(目的)

第 1 条 この要綱は、酒田市立図書館（以下「図書館」という。）資料の選定及び収集に関して、必要な事項を定めることを目的とする。

(選定方針)

第 2 条 図書館資料を体系的に整備するため、選定に当たっては次の要件の一に該当しなければならない。

- (1) 図書館資料として未整備である基本図書
- (2) 図書館資料として必要な参考図書
- (3) 新刊図書
- (4) 利用の多い資料の複本
- (5) 利用の多く見込まれる資料
- (6) 郷土資料
- (7) その他、図書館として必要とする資料

(選定除外)

第 3 条 資料の選定に当たっては、次の要件の一に該当する資料は、その対象にしないものとする。

- (1) 特定の政治団体及び宗教団体を著述したもので、利用が特定の者に限られる資料
- (2) 館外貸出しをすることのできない視聴覚資料
- (3) 科学的に検証できていない医学情報等を含む資料
- (4) 試験等問題集類

(選定会議)

第 4 条 図書館資料の選定は、選定会議を開催し決定するものとする。

- 2 選定会議は、職員全員で構成する。
- 3 選定会議は、週 1 回開催する。

(購入の方法)

第 5 条 図書館資料の購入においては、原則として資料の書誌情報を同時に購入するものとする。

- 2 郷土資料及び雑誌については、書誌情報の有無にかかわらず購入できるものとする。

附 則

この要綱は、平成 17 年 1 月 1 日から施行する。

酒田コミュニケーションポート（仮称）整備に関する アンケート調査の実施について（案）

1 実施時期

平成 28 年 7 月 19 日（火）～ 8 月 19 日（金）（※）市広報 7 月 15 日号、HP 等で周知

2 実施方法

(1) ポストイン方式

①対 象 市民 2,000 人無作為抽出の中学生以上

（※）貸出し実績からは小学生の利用も多いため対象としたいが、個人での学区外への行動が制限されているので、中学生以上とする。なお、H27 に子ども読書活動推進計画策定のため、小 2、小 5、中 2 の児童生徒、保護者に、読書習慣や図書館の利用状況等に対するアンケート調査結果も実施しており、今後の基礎資料として参考にできる。

②調査方法 調査表を郵送し、返送してもらう。

(2) 各公共施設等への設置による実施（図書館、市役所等）

(3) 大学生調査

(4) 高校生調査 回収率向上等を考慮しアンケート項目の簡素化を図る。

3 アンケート調査表

(1) ポストイン方式、各公共施設等設置、大学生調査 別紙 1 のとおり（基本的に共通）

(2) 高校生調査 別紙 2 のとおり

4 アンケート項目の設定の考え方（別紙 1 の部分）

- ・これまで以上に多くの市民からライブラリーセンター（図書機能）を利用してもらうために、現在の低・未利用者の原因を探り、新施設に反映させていく。
- ・酒田コミュニケーションポート（仮称）が駅前の市民の憩いの場として、人々が集い、そこで交流や賑わいが創出される場所として求められる機能について探る。
- ・そのため、多様な層（職業や家族構成等）の属性の違いによるニーズを探る。

5 その他

- ・イメージを描きやすいように、6 月下旬に決定される事業予定者が提案した計画概要を参考資料として添付する。

質問3 あなたの職業などを教えてください。

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| a 自営業（農林漁業、商工業など） | b 会社員（派遣・契約社員含む） |
| c 公務員・教員 | d アルバイト・パート |
| e 専業主婦 | f 専門学校生・大学生 |
| g 高校生 | h 中学生 |
| i 無職 | j その他（ ） |

質問4 あなたの勤務地（就学地）を教えてください。

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| a 酒田市内 | b 鶴岡市 |
| c 遊佐町 | d 庄内町 |
| e 三川町 | f その他（ ） |
| g 通勤、通学していない | |

質問5 あなたは通勤、通学のために、酒田駅（鉄道）を利用していますか。

- | | |
|--------------|---------|
| a 利用している | b 利用しない |
| c 通勤、通学していない | |

質問6 あなたの家族構成を教えてください。

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| a 夫婦のみの世帯 | b 親と子の世帯（2世代世帯） |
| c 親と子と孫（3世代世帯） | d 単身世帯 |
| e その他（ ） | |

質問7 あなたのお住まいの小学校区を教えてください。

（ ）小学校区

質問8 読書・調べ物は、あなたのライフスタイルの中でどの程度の位置づけですか。

- | | |
|------------|---------|
| a とても重要 | b 重要 |
| c あまり重要でない | d 重要でない |

質問9 日頃、本や雑誌をどのくらい読みますか。

- | | |
|----------|------------|
| a 月に5冊以上 | b 月に2～4冊 |
| c 月に1冊 | d 2～3カ月に1冊 |
| e 半年に1冊 | f ほとんど読まない |

質問10 本や雑誌は主にどこで読んでいますか。または、どこで読みたいですか。

- | | |
|----------|-----------------------------|
| a 自宅 | b 学校・職場 |
| c 図書館 | d 書店 |
| e 飲食店 | f 公園など屋外 |
| g 公共交通機関 | h その他（ ） |

質問 11 主にどんな環境で本を読んでいますか。

- | | |
|--------------|-------------------------|
| a 静かで集中できる環境 | b 音楽を聴いたり、BGM 等が流れている環境 |
| c 飲食をしながら | d 移動中（電車、バス等） |
| e 待ち時間や休憩中 | f その他（ ） |

II 現在の中央図書館（児童図書室を含む）について

質問 12 過去 1 年間、中央図書館（児童図書室を含む。以下同じ）をどの程度利用していますか。

- | | |
|-----------------------|------------|
| a ほとんど毎日 | b 週に 2～3 回 |
| c 週に 1 回 | d 月に 2～3 回 |
| e 月に 1 回 | f 年に数回 |
| g 利用したことが無い ⇒ 質問 14 へ | |

質問 13 中央図書館を利用する際の目的は何ですか。（3 つまで選択してください。）

- | | |
|-------------------|---------------------|
| a 図書を借りるため | b 館内での図書、新聞等を閲覧するため |
| c DVD・CD の視聴のため | d インターネットを利用するため |
| e 資料を利用して調査研究するため | f 宿題、勉強をするため |
| g 仕事をするため | h 調べ物の相談のため |
| i 講座や行事（読み聞かせ等） | j 子ども等の付添いのため |
| k 気分転換、リフレッシュ | l その他（ ） |

質問 14 質問 12 で「利用したことが無い」と回答した方にのみお尋ねします。

その主な理由は、何ですか。（3 つまで選択してください。）

- | | |
|------------------------|-----------------|
| a 場所や利用の仕組みが分からない | b 自宅や学校、勤務先から遠い |
| c 別の図書館（学校図書室含む）で満足である | d 行くための交通手段がない |
| e 開館日や開館時間に都合がつかない | f 本は購入して読んでいる |
| g 貸出や返却の手続きが面倒である | h 本をあまり読まない |
| i インターネット、電子書籍で十分である | j 雰囲気や苦手である |
| k 利用したい図書・サービスが無い | l 忙しくて行く暇がない |
| m その他（ ） | |

質問 15 中央図書館で充実してほしいものはなんですか。（3 つまで選択してください。）

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| a 書籍、雑誌等の充実 | b 居心地の良い空間 |
| c 図書貸出等の手続きの利便性 | d 書籍、雑誌、資料等の探しやすさ |
| e インターネットや Wi-Fi 環境の充実 | f ビジネス支援の充実 |
| g 子ども・ティーンエイジャー向けの書籍やサービスの充実 | |
| h 読み聞かせコーナーの充実 | i 地元産業・郷土資料展示コーナー |
| j 高齢者や障がい者の利用しやすさ | k 利用しやすい開館日・開館時間 |
| l 交通の利便性・駐車場の充実 | m 専門的な職員による対応 |
| n その他（ ） | |

Ⅲ 酒田コミュニケーションポート（仮称）について

<ライブラリーセンター>

質問 16 近年、滞在型の図書館として、居心地性の向上を図った図書館、交流できる図書館、飲食が可能な図書館、夜間も開館している図書館など新たな魅力を持った図書館が注目されています。駅前のライブラリーセンターでは、どのようなことができれば良いと思いますか。（3つまで選択してください。）

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| a 電子書籍等の電子情報に気軽に触れられる | b 仕事、学校帰りに気軽に寄れる |
| c 静かな部屋で調査や自習ができる | d イベントや催し物ができる |
| e 趣味・仲間が見つけれられる | f 友人や仲間と集い、交流ができる |
| g 子ども連れで気軽に利用できる | h 目的がなくても気軽に立ち寄れる |
| i くつろぎながら読書ができる | j 長い時間、滞在できる |
| k 飲食ができる | l 託児ができる |
| m その他（ | ） |

質問 17 現在の中央図書館の開館時間は、平日が午前9時から午後7時まで、日・祝日が午前9時から午後5時までです。駅前に整備するライブラリーセンターとしてのふさわしい開館時間を何時から何時までと考えますか。

<開館>		<開館>
(a 午前7時頃 b 午前8時頃 c 午前9時頃 d 午前10時以降 e その他（))	から	(a 午後5時頃 b 午後6時頃 c 午後7時頃 d 午後8時頃 e 午後9時頃 f その他（))
		まで

<広場>

質問 18 今回の駅前整備では、多目的に使い、緑地等も備えた広場も整備していくこととしています。広場では、どのようなことができればよいと思いますか。（3つまで選択してください。）

- | | |
|---------------|--------------------|
| a イベントの開催 | b 本が読める |
| c 体を動かすことができる | d 緑を感じる事ができる |
| e 休憩ができる | f 待ち合わせや談話ができる |
| g 飲食ができる | h 趣味仲間やサークルの活動ができる |
| i その他（ | ） |

<駐車場、バスベイ>

質問 19 今回の駅前整備では、駐車場やバスベイを整備する計画としています。整備後、酒田コミュニケーションポート（仮称）を利用するとした場合の交通手段は何ですか。

- | | |
|-------|-----------|
| a 電車 | b 自転車 |
| c バス | d タクシー |
| e 自動車 | f バイク |
| g 徒歩 | h その他 () |

<観光情報センター>

質問 20 現在の駅舎内の観光案内所の環境改善や機能向上を図るため、観光情報センターの整備を計画しています。ライブラリーセンターなどと連携を図りながら、観光客、来街者にどのようなサービスが提供できれば良いと思いますか。

- a お土産品の充実
- b 休憩ができる（カフェ等を含む）
- c ライブラリーセンターの地域情報資料を活用しての情報発信
- d インバウンド対応機能の充実
- e インターネットやWi-Fi環境の充実
- f バーチャル映像等による歴史、文化、自然の紹介
- g その他 ()

質問 21 持続的に交流やにぎわい創出を図っていくため、市民の皆さんからも、新公共施設のイベント企画や施設運営等へ積極的に参画していただくことがとても大切と考えています。あなたは、参画したいと思いますか。

- a 参画してみたい
- b 参画しない
- c その他 ()

質問 22 その他必要なものや使いやすい新しい施設とするため、ご意見があれば記入をお願いします。（自由意見）

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケート用紙は同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、平成 28 年 8 月 19 日（金）までに投函してください。

このアンケートの結果は、市ホームページ等にて公表していく予定です。

※別紙の駅前複合施設整備計画案をご参照ください。

酒田の未来のため、高校生の皆さんのニーズ（声）を、ぜひ、聴かせてください！！

飲食しながら図書を
読みたいな～

友人とおしゃべりしながら過
ごせるスペースがほしい～

酒田駅周辺整備事業
駅前公共施設に関するアンケート調査

現在、本市では、酒田駅前の旧ジャスコ跡地を中心とした区域で、交流・にぎわいの創出を図るため、官民連携での複合施設の整備を計画しています。

この複合施設には、ライブラリーセンター（現文化センター内の中央図書館・児童図書室の機能は当該施設に移転）のほか、カフェ、観光情報センター、広場、駐車場、バスベイの公共施設を計画しています。

市内の高校に通っている高校生の皆さんが、通学途中や休みの日などに、おおいに利用してもらえる公共施設となるように、意見を聴かせてください。

（※）回答は、該当する番号を○印で囲んでください。

質問1 あなたの性別を教えてください。

- a 男性 b 女性

質問2 あなたの住んでいるところを教えてください。

- a 酒田市内 b 酒田市外

質問3 あなたは通学のために、酒田駅（鉄道）を利用していますか。

- a 利用している b 利用しない

質問4 通学途中や休みの日等に、利用しやすい、利用したくなる駅前公共施設となるため、必要な機能、スペース、設備、サービス等を教えてください。（3つまで選択してください。）

- a 友人と雑談しながら、本を読める場所がほしい。
b 静かにする場所（サイレントブース）がほしい。
c 勉強できる場所をたくさん設けてほしい。
d ゆっくりとくつろげて、本が読めるスペースがほしい。
e マンガをたくさん置いてほしい。
f ティーンズ（10代、中高生向け雑誌等）コーナーの図書を充実してほしい。
g 就職や進学に役立つ情報がほしい。
h 屋外でも休憩できるようなテラスやベンチがあると良い。
i 開館時間を延ばしてほしい。（現図書館は、平日終了午後7時）
j インターネットやWi-Fi環境を充実してほしい。
k 自由に飲食できるスペースがほしい。

質問5 その他必要なものや使いやすい新しい施設とするため、ご意見があれば記入お願いします。
（自由意見）

※裏面の駅前複合施設整備計画案をご覧ください。

先進地視察行程（案）

※詳細な集合場所等については、追って参加者へお知らせします。

1 日 程 平成 28 年 7 月 7 日（木） 終日

2 視 察 先

- ①多賀城市立図書館 宮城県多賀城市
- ②オガールプラザ（紫波町図書館） 岩手県紫波町

3 行 程 案

～バス借上げ（25 名乗り用）～

- ・ 7：00～ 酒田市役所 発
- ・ 10：30～ 多賀城市立図書館 着
- ・ 11：30～ 多賀城市立図書館 発
- ・ 14：00～ オガールプラザ 着
- ・ 16：00～ オガールプラザ 発
- ・ 19：30 酒田市役所 着

※本行程案は、場合によって前後する可能性がありますので、ご了承ください。

4 その他

- ・ 視察当日は、教育委員も同行する予定です。
- ・ 昼食は、途中の高速道路 S A を予定しています。